

東委員（民主県政会）

令和4年3月11日
教育長答弁実録
(教育委員会)

(問) 公立学校における教員が不足する理由について

公立の小学校，中学校，高等学校の教員が不足する主な理由をどのように分析しているのか，教育長に伺う。

(答)

教員を志す人材につきましては，全国の国立教員養成大学卒業者の教員就職状況が平均で6割台に留まっているほか，一般大学におきましても，教職課程の履修者が減少傾向にございます。

また，中学校，高等学校の教員志望者につきましては，専門性の高い教科もあるため，小学校に比べて民間の採用状況に左右されやすい面もあると考えております。

加えて，採用者数を拡大していく中で，臨時的任用教員や非常勤講師等を受けながら，教員採用試験にチャレンジしてきた層の採用が進んだことなどにより，教員の産育休や病休等に伴う速やかな代員等の確保が，困難になっている場合もあるものと考えております。